

はないのです。醫學的に少しでも大體のことがわかつてゐれば、そして平常から子供の保健について、

充分に根本的に考へて注意してゐれば、突然、愛兒が發病したといつてびつくりするようなことはなく未然にふせげる場合が多いと思ひます。専門的のことは醫者にまかせるとしても、婦人として、一通りの、通俗的なことでよろしいのですから醫學に關する心得があつてほしいと思ひます、これは婦人が主婦となるまへに、母となるまへに、その教育をうけてゐる時機の中に、何處かで養はれるようにありたい。乳兒幼兒の死亡でも、親の不注意、不衛生などから來ることが、どれ位あるかわかりません、姑息の愛のために、子供に衛生上面白からぬ習慣をつけて、その子供の健康を害つたり、榮養をさらせるつもりで、充分な知識がないために、かへつて子供の發育をさまたげるような方法をとつたりすることが随分あらうと思ひます。このごろは婦人運動も大分盛んになつて、參政權を得やうとする方面まで來たようですが、それよりも、先づ、婦人自身が自分の身體についての知識を、もつと充分に得てゐることが、婦人のために、また幼兒のために幸福であらう

と私は考へてゐます。

○獨逸の子供等牛乳に饑ゆ

獨逸は這般の平和條約によつて十四萬頭の乳牛を提供しなければならぬ事となつた、又最近の情報によれば佛國はその條約以外更に八十一萬頭の乳牛を要求したと云ふ斯の如き事情の下に子供に必要な乳を得る事が不可能となつた、現に南獨逸の小都會では日々百リートルの牛乳が必要なのに半分又は二十五リートルしかない場合が多い、元來乳牛は獨逸では戦前でも非常に少なく牛の食物も不足で乳の出方が少ない加ふるに砂糖の缺乏甚だしく目下は戦前より百何十倍の浪費で子供に必要な乳と砂糖とが缺乏して居るで現在獨逸では子供を充分に養育する事が出來ず子供の體質漸次退化し尙ほ人口は次第に減少の徴を示して居る、されば英米其他各種團體では日本の各慈善團體とも交渉し救濟策に就て研究中である、右に就き駐日獨逸大使ゾルフ氏夫人は語る「私が日本へ來て感動した事は子供の待遇の、事です物資上の満足及び學校教育が如何に完備してゐても兩親が子供を善く待遇しなければ性質が悪くなります、人格教育が教育中の中心であるとは獨逸の哲學的教育學者の新意見でオイケン氏等し此の考へを主張して居ります子供は待遇は子供自身に取つて大切な事であるのみならず其國民の運命に取つて重大な意味があります日本國民が子供の好待遇を實行して居る事は歐洲人の深く驚く事でありませう此の日本の親達も獨逸の饑饉に瀕して居る哀れな子供に同情を寄せて下さる事は信じて疑はない所でありませう、子供が牛乳に饑へるのは戦争の影響を子供に負はせる反人道的事實ですこの慘狀を救濟する爲めに獨逸には種々なる機關が出來てゐます前獨逸皇后が主催された「幼兒死亡救濟會」の會長小兒科醫ラングスマイン氏などは盛んに活動して居られます。(東京日々新聞より)